

科 目		必・選	担 当 教 員	学年・学科		単位数	授 業 形 態						
国 語 (Japanese)		必	宮本克之 北澤正憲	1 年生 電気情報工学科		3	現国 通年2時間 古典 半年2時間						
授業概要	読む・聞く・書く・話す・考えるという日本語の能力を有機的に連携させつつ育成することにより、社会において求められる論理的かつ多角的な理解力、柔軟な発想・思考力、豊かな口頭表現を含む効果的なコミュニケーション能力、および主体的な表現意欲を培う。また、古典を含む文学的な文章の鑑賞をとおして日本の言語文化についての理解を深め、感受性を培う。古文・漢文にふれ、中国文化との関係を含む日本文化への理解を深めるとともに、それらに親しもうとする態度をもつことができる。												
到達目標	1、代表的な文学作品を読み、人物・情景・心情の描写ならびに描写意図などを的確に理解して味わうとともに、その効果について説明できる。 2、代表的な古文・漢文を読み、言葉や表現方法の特徴をふまえて人物・情景などを理解し、人間・社会・自然などについて考えを深めたり広げたりできる。 3、表現方法を工夫して、自らに意見や考えを効果的に伝えることができる。												
評価方法	4回の定期試験 70%（古典のある半期については、現国対古典の比を1対1とする。）、提出物、小テスト、意見発表を30%として評価。												
教科書等	『精選国語総合』（大修館書店）、『標準漢字演習』（とうほう）、『現代新国語辞典』（三省堂）、『用例古語辞典』（学研）、プリント。												
内 容		現 国		古 典			学習・教育目標						
第 1 週	国語を学ぶということ	スピーチの基礎①		第 1 週	古典に親しむ		D	D					
第 2 週	随想「センスオブワンダーを追いかけて」			第 2 週	「宇治拾遺物語」		D	D					
第 3 週	〃			第 3 週	〃 漢文入門		D	D					
第 4 週	表現①「味」を表現する。			第 4 週	〃 格言		D	D					
第 5 週	〃			第 5 週	「伊勢物語」 〃		D	D					
第 6 週	評論「水の東西」			第 6 週	〃 故事成語「矛盾」		D	D					
第 7 週	〃	言葉①漢字と語彙		第 7 週	〃 〃		D	D					
第 8 週	〃			第 8 週	〃 前期中間試験		D	D					
第 9 週	小説「羅生門」			第 9 週	「平家物語」 「先従隗始」		D	D					
第10週	〃			第10週	〃 〃		D	D					
第11週	〃	表現②感想を書く。		第11週	〃 「絶句」		D	D					
第12週	〃			第12週	〃 〃		D	D					
第13週	〃			第13週	「万葉集」 「律詩」		D	D					
第14週	詩「一つのメルヘン」ほか			第14週	「古今集」 「新古今集」		D	D					
第15週	〃			第15週	古典のまとめ 前期末試験		D	D					
第16週	俳句	スピーチの基礎②					D						
第17週	〃	表現③ 鑑賞文を書く。					D						
第18週	手紙「学位を頂きたいのであります」						D						
第19週	評論「言葉についての新しい認識」						D						
第20週	〃	言葉②漢字と語彙					D						
第21週	〃						D						
第22週	〃						D						
第23週	〃	表現④レポートを書く。		後期中間試験			D						
第24週	小説「なめとこ山の熊」						D						
第25週	〃	言葉③漢字と語彙					D						
第26週	〃						D						
第27週	〃						D						
第28週	〃			※古典を後期に行う場合は、後期に読み替			D						
第29週	〃			えることとする。			D						
第30週	コミュニケーションのために			後期末試験			D						
(特記事項) 各単元の中で、漢字や語彙を習得し、古典においては漢文も随時学ぶため、進度が計画より前後することがある。			JABEEとの関連										
			JABEE	a	b	c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
			本校の学習・教育目標	A	A	C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
										◎			

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（例）年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつとなります。）

(現代文)

第1週 「国語」を学ぶということ。スピーチの基礎①

- ・私たちは国語を何のために学ぶのか。「ことば」を学ぶ目的と方法を理解する。
- ・魅力的なスピーチをするためにはどうすべきか。スピーチの基礎を理解し、実際に体験する。

第2週～第3週 随想「センスオブワンダーを追いかけ」

- ・筆者の主張を読み取り、身の回りの物事、社会や自然を見つめ直す。

第4週～第5週 表現① 「味」を表現する。

- ・「味」等を例にして、魅力的な表現を探す。また、実際に書いて、表現を工夫してみる。

第6週～第8週 評論「水の東西」

- ・論理的な文章を読み、論理の構成や展開の理解にもとづいて論旨を客観的に理解し、要約し、意見を表すことができる。
- ・漢字と語彙についても学習する。

第9週～第13週 小説「羅生門」

- ・近代小説の名作に親しみ、場面や登場人物の心情の変化を表現に即して読み味わう。
- ・読書感想文の書き方についても学習する。

第14週～第15週 詩「一つのメルヘン」ほか

- ・日本の代表的な詩篇を対象に、詩人たちの特徴的な表現方法を学び、日本語の美しさに触れる。

第16週～第17週 俳句 スピーチの基礎② 表現③俳句の鑑賞文を書く。

- ・短詩型文学の凝縮された言語表現から作品の世界を理解する。また、実際に俳句を制作することを通じて、俳句の固有性を具体的に理解する。
- ・スピーチの方法について再度確認し、実際に口頭発表を行う。

第18週 手紙「学位を頂きたくないのです」

- ・夏目漱石の手紙を題材に彼の思想を学び、あわせて手紙の書き方を学習する

第19週～第23週 評論「言葉についての新しい認識」

- ・論理的な文章の代表的構成法を理解する。
- ・漢字や語彙についても学習する。表現④言葉に関するレポートを書く。

第24週～第29週 小説「なめとこ山の熊」

- ・宮沢賢治の思想と表現を学ぶことで、他者とのコミュニケーションについて理解を深める。
- ・漢字や語彙についても学習する。

第30週 コミュニケーションのために

- ・信頼性に鑑みて情報を分析し、図表等を用いて適切に活用・加工してコミュニケーションに活用する。

(古典)

第1週 古典に親しむ。

- ・古文・漢文の学習の意義を理解し、それらに親しもうとする態度をもつ。

第2週～第4週 説話「宇治拾遺物語」 漢文入門 格言

- ・古文・漢文について、音読・朗読もしくは暗唱することによりリズムや音韻などを味わうことができる。

第5週～第8週 「伊勢物語」 故事成語

- ・歌物語の世界に親しむ。
- ・「矛盾」ほかの漢文を読む。

第9週～第12週 「平家物語」 「先従隗始」 「絶句」

- ・軍記物語の言葉のリズムを楽しむとともに、登場人物の心情を理解する。
- ・漢文の返り点など訓読の基礎や、書き下しの仕方を習得する。

第13週 「万葉集」 「律詩」

- ・万葉の素朴、古今の技巧など、詩歌の表現を楽しむ。
- ・唐詩の世界に親しむ。

第14週 「古今集」 「新古今和歌集」

- ・日本の伝統文芸の様式美を知る。

第15週 古典のまとめ